



2024年8月5日

各位

会社名 株式会社アストロスケールホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岡田 光信
(コード：186A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役兼 CFO 松山 宜弘
(TEL. 03-3626-0085)

第6回定時株主総会 事業進捗のご報告 質疑応答書き起こし

・ 説明資料：

[第6回定時株主総会 事業進捗のご報告](#)

Q: 説明資料 p8 における EOL（民間）というのは、複数の商談が含まれているとの理解で良いか。

A: 商業ミッションは、複数の潜在顧客と議論を進めている。契約締結に至れば、速やかに開示していきたい。

Q: 説明資料 p8 における LEXI-G/LEXI-C について詳細を教えてください。

A: LEXI-G は政府（Government）機関向け、LEXI-C は民間（Commercial）向けのミッションを想定し、それぞれにて事業機会を見据えている。

Q: 説明資料 p8 の右下に記載のグラフは何を意味しているのか。

A: グラフは各年に運用停止予定の静止軌道衛星に係る当社予想の基数を記載している。グレー色は民間運用、青色は政府運用の退役基数を示している。

Q: 上場後の個人投資家向けの IR 戦略を教えてください。

A: 株主との対話は非常に重要であると未上場時も上場後も考えている。情報の非対称性を無くすように常に心がけている。上場後、機関投資家に対しては、決算後の面談を数多くさせて頂いている。今後、数か月では、証券会社主催のカンファレンスへの参加や個別の海外機関投資家訪問を実施する予定であり、世界中の投資家とのタッチポイントを持って行く。一方で、個人投資家向けの IR にも注力していきたいと考えている。特に当社のビジネスは非常に分かりにくいというご指摘を多く頂くため、事業説明の仕方も十分に工夫し、改善する余地があると思っている。また、個人投資家向けのイベントへの参加や説明会の書き起こしの掲載等、様々な方法を試行錯誤していきたい。

Q: エンジニアの採用状況について聞かせて欲しい。

A: 2024年6月末時点でコンサルタントや非正規雇用も含めると620名が在籍している。これの4分の3がエンジニアである。現在、宇宙業界全体が人材獲得競争にあるが、当社の採用は幸い、順調に進められている。これには3つの理由があると思う。1つ目は、当社のミッションがメガトレンドであること。2つ目は、RPO（ランデブ・近傍運用）技術に関わりたいと考えるエンジニアが多いこと。3つ目は、グローバルに事業を展開していること。現時点では、事業成長に合わせた採用を進めることが出来ている。

Q: 採用するエンジニアのバックグラウンドは。

A: 当社の技術を細分化すると必ずしも宇宙固有の技術だけが必要なわけではない。例えば、機械工学や電気

工学の技術を持ち製造業から来たエンジニア、センシングの技術を持ち合わせておりセンサーを取り扱う会社から来たエンジニアもいる。一方で、GNC（Guidance Navigation Control）や航法システムエンジニア等は、宇宙技術、宇宙特性を理解した人材が必要である。報酬等についても競合他社比で競争できる水準と認識しており、その証明として人材が獲得できていると思う。

Q: 従業員の確保という観点から、従業員の株式報酬をもっと増やした方が良いのではないか。

A: 国内で株式報酬に関する新たな取組みが行われていたり、海外企業での事例など存じている。今後、参考意見として、検討させて頂く。

Q: 株価が下がっていることを受け、各方面から不安の声が上がっている。中期計画を公表なされる等、黒字転換するビジネスであることを投資家が確信できる IR をお願いしたい。

A: 黒字化のタイミングについては、先ほど説明した通り、営業損益は 2026 年 4 月期に損益分岐を目指して事業運営を行っている。投資家への説明に関しては、パイプラインの進捗（説明資料 p7）がアップデートされ、実績として着実に積み上がっていることが重要であり、これをしっかりと示していく必要がある。また、2024 年 8 月 19 日に事業説明会を予定しており、頂いたご意見を説明に反映させたい。

Q: ADRAS-J2 の進捗と打上時期はいつか。

A: 2024 年 4 月に単独で採択された。現在は契約に関する作業を行っているところであり、契約締結時には開示させて頂く。打上時期は 2028 年 4 月期を予定している。

Q: 経営陣は株価についてどのように捉えているか。

A: 株価推移については、経営陣一同、常に注視している。株価は当社の取組みによる企業価値の表れだと思っており、そういう意味では上場前後における捉え方は変わらない。当社がなすべきことは、技術で競合に先行し、各国においてプロジェクトを獲得し、グローバルなルール作りに貢献していく事に尽きる。同時にこれら 3 つを並行して取組むことが重要であり、この結果、2024 年 4 月末には受注残が 285 億円にまで積み上がった。この取り組みをこつこつと着実に積み上げていき、プロジェクトの入札と受注を繰り返していくことが企業価値を高め、株価に反映されると考える。創業してから約 4,100 日経過するが、とにかく 1 日 1 日進めていくと、必ず先が見えることを信じて、これからも続けていく。

Q: 同社の事業の進捗ぶりが正しく投資家に理解されていないと感じる。着実に黒字化のタイミングが見えてきていることをより明確に示すべきではないか。

A: 当社は事業の特性上、同時に多くの事を伝えなければならず、ご理解いただくには時間がかかることがある。当社のメッセージが伝わっていないというご指摘は、貴重なご意見としてしっかりと受け止め、今後の IR 活動の改善に反映していく。投資家に理解してもらうために、IR 活動はもう一段ギアをあげて加速させていくことを考えている。機関投資家向けには今後 3-4 ヶ月は毎月、カンファレンス参加や 9-11 月は毎月海外投資家訪問などを予定している。個人投資家向けも先ほど説明した通り、個人投資家向けセミナーや書き起こしの配信など、様々な投資家に伝わる機会を増やしていきたい。

ご質問やお問合せは IR Team (ir@astroscale.com) までご連絡をお願いいたします。

Note :

本資料は、株式会社アストロスケールホールディングス（以下「当社」または「アストロスケール」）により、情報提供のみを目的として作成しております。本資料には、当社の将来の見通しおよび計画に関する当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの記述は、本資料の日付また

は他の特定の日付時点における当社の仮定および見通しを反映しています。これらの前向きな記述が実現するという保証はありません。実際の結果は、当社のミッションの開発や運用における変化または不利な結果、顧客の計画やニーズの変更、競争、法的小および規制環境の変更その他の要因を含む様々な要因により、これらの記述に示されたものと実質的に異なる場合があります。したがって、これらの記述に過度の信頼を置かないように注意が必要です。当社は、適用法または証券取引所の規則および規制により要求される場合を除き、本資料に含まれる情報をその後の進展に基づいて更新または修正する義務を負いません。本書には、引用されている第三者の情報に基づくまたは派生した情報が含まれています。当社は、第三者の情報の正確性または完全性を独自に検証しておらず、また、その正確性または完全性を当社が保証するものではありません。

以上